

留学報告書
～留学を通じて自分が成長できたこと～

東義大学校
国際文化学部（中期）

私は中期留学で約4カ月の間、韓国の釜山にある東義大学の留学プログラムに参加しました。小学生のころから、韓国ドラマやK-POPに興味をもち、韓国という国に憧れを抱いていました。また、大学生のうちに自分自身で何かに挑戦したいという気持ちが強くあったので、今回の留学を決意しました。

出発の当日、私は飛行機に乗るのも、海外へ行くのも初めてだったので、緊張と不安で胸がいっぱいでした。それから無事に釜山に到着し、ゲートを出ると、そこには東義大学の学生の方々が迎えに来てくれていました。そこで初めて、事前に申し込んでいたバディプログラムの学生さんと会い、一緒に東義大学の寮までタクシーで向かいました。そのタクシーの途中、窓の外を見るとそこには私がずっと韓国ドラマやテレビで見ていた街並みや雰囲気があって、「初めて自分が韓国に来たんだ。これから留学生活が始まるのだ。」と実感しました。

留学生活が始まってから5日後、韓国語のレベル分けテストを受け、本格的に韓国語の授業がスタートしました。私は①応用、②中級、③基礎と3つあるクラスのうち②の中級のクラスになりました。初日は授業についていけるかとても不安でしたが、一方で新しい環境の中で出会う韓国人の先生やさまざまな国から来たクラスメイトと会えることにとってもワクワクしていました。しかし、実際に授業を受けてみて、授業中は当たり前で韓国語で進んでいくので、先生の話を理解するのにとても苦労しました。ひとつの言葉の意味を考えているうちに次々と話が進んでいくので、追いつくのに必死で、1限の授業だけでも非常に負担を感じました。それでも何とか授業についていくために、寮に戻って、復習に力を入れました。しかし、やはり授業の内容が難しく、復習しても分からないところがだんだん増え、これ以上このレベルでやっていく自信がないと思ったので、先生にクラスを変えてほしいと相談しました。その時、先生が親身になって相談に乗ってくれました。実際、私以外にもクラスのレベルに悩んでいる友達が多かったみたいで、もう一度先生たちの方で話し合い、クラス替えが実施されました。そして③の基礎のクラスがもうひとつ作られ、そこに移動することになりました。そのクラスには日本人以外に、中国、台湾、アメリカやフランス、ロシアやカザフスタン、ガーナから来ていた留学生がいて、初めは緊張しましたが、ペアでの会話練習やグループワークを通じて、徐々に打ち解け合うことができました。また、授業の中で先生が例えば一つ韓国の文化を紹介するたびに、「日本ではどう？」「台湾だったら？」とほかの国についても聞いていたので、それぞれの文化の違いや共通点を知ることができ、とても面白かったです。

また、私は2つの大学のサークルに参加しました。1つはテコンドーのプログラムです。このプログラムに参加し、先生から直接基礎から丁寧に指導していただきました。実際に体を動かしながら学んだことで、テコンドーの技術だけでなく韓国の文化も体験することができ、とても貴重な経験となりました。また、台湾人の友達と一緒に参加したことで、お互いに励まし合いながら楽しく取り組むことができました。2つ目は、国際文化交流サークルです。普段の授業は留学生向けで、韓国人が当然おらず、大学の授業を履修していなかったため、普段の生活であまり韓国人学生と関わる機会がなかったため、もっと交流の場を持ちたいと思い、このサークルに参加しました。ここでは、韓国人学生だけでなく、さまざまな国からの留学生とも交流することができ、とても刺激的な時間を過ごしました。活動の一環として、ご飯会やピクニック、バーベキューなどのイベントがあり、楽しみながらお互いの文化について学ぶことができました。その中でも、特に印象に残っているのは海雲台でのヨットツアーです。ヨットに乗って夜の綺麗な海を堪能しながら、船上で花火を打ち上げ、とても特別な体験をすることができました。異文化交流をしながら、大切な思い出を作ることができた貴重な時間でした。

積極的に交流の場を増やし、さまざまな活動に参加した結果、次第に友達が増え、授業やサークル活動以外にも、一緒にご飯を食べたり遊びに行く機会が多くなりました。他の国の留学生と話す際は、共通言語として韓国語を使うことがほとんどでした。最初は自分の韓国語の単語のレパートリーが少なく、思うように会話ができなかったため、翻訳機を活用しながらコミュニケーションをとっていました。しかし一緒に寮で生活し、ともに過ごす時間が増えていくにつれて、気づけば翻訳機なしで話せるようになっていました。休日には、友達と過ごすことが多く、釜山で人気のある観光地によく出かけました。特に、海雲台や広安里の海がとてもきれいでお気に入りでした。また、雰囲気がおしゃれで素敵なカフェが多く、写真を撮ったり、一緒にケーキを食べて楽しい時間を過ごしました。

留学に参加する前の私は、内気で人見知りしてしまう性格でしたが、自分から交流の場に参加し、行動に移したことで、ここでしか出会うことのなかったさまざまな国の留学生と友達になることができました。この経験が自分の中で大きな自信となりました。また、お互いに未熟な韓国語だからこそ、リラックスして話すことができ、授業で習った会話表現をすぐ実践的に活用していたので、自分の韓国語の単語のレパートリーが増えた実感することができ、話すことがとても楽しく感じていました。仲良くなった韓国人の友達と帰国前に会ったときに、「初めよりも韓国語を話すのがとてもうまくなったね！」「発音も上手！」と言ってくれたことがとても嬉しくて印象に残っています。自分から行動し取り組む姿勢がコミュニケーション能力と語学力を向上させる結果となりました。留学を通して培うことができたこの経験を忘れることなく、今後の就職活動やこれから先の人生へ活かしていきたいです。今回の韓国の中期留学に参加して本当に良かったと感じました。

